

令和6年度事業報告書

〔定款の事業名〕 個人・家族の課題解決の仕組みづくり支援事業

〔事業内容〕 生活を支える機能開発に関する調査・検証

令和3年度より、人々(個)が安心して暮らすことのできる仕組み構築を目指し、これまでの取組の評価検証を行ってきたことを踏まえて、令和4年度から、暮らしのインフラとしての移動販売を活用した仕組み構築の可能性を検証し、社会的課題に取り組む投融資の活発化による地域の自律的好循環の形成に向けて「おもいやりの移動販売事業者協会」を設置し、その社会的役割構築のためのサポートを行った。令和5年度は、オンライン交流会のみの開催であったが、令和6年度は協会メンバーの活動拠点を現地視察し、訪問レポートを作成。協会メンバーに共有し、今後の運営について検討した。

〔実施日時〕 令和6年4月1日～令和7年3月31日

〔実施場所〕 山口県山口市阿東地福ほほえみの郷トイトイ、

〔従事者の人数〕 4人 〔支出額〕 143(千円)

パートナー： 思いやりの移動販売事業者協会・NPO法人英田上山棚田団・上山移動スーパー・
いどうスーパーロンドン・ほほえみの郷トイトイ(山口県)他全国の移動販売事業者

▶「おもいやりの移動販売事業者協会」事務局

令和6年度は前年までのオンライン交流会で話題に挙がっていた現地視察および交流会を実施。山口県山口市阿東・地福を中心に店舗型のスーパー及び移動販売事業の運営、住民の交流拠点づくり等を行うNPO法人ほほえみの郷トイトイを訪問。事務局長の高田氏、スタッフの石田氏を中心に、移動販売事業の立ち上げから継続にあたってのポイントを解説いただき、実際に移動販売事業にも同行した。移動販売のノウハウだけにとどまらず、地域づくりに携わるマインドも含めて余すことなくお伝えいただき、当日参加できなかった協会メンバーに向けては後日、視察レポートを作成し共有した。みんなの集落研究所内ホームページ内では、協会についての情報を整理し掲載。協会に関する問い合わせがあれば随時対応を行う。



[定款の事業名] 集落・組織の課題解決の仕組みづくり支援事業

[事業内容]自治体の地域運営組織等支援体制の把握及び推進支援事業

岡山県内自治体による地域運営組織の体制構築を推進するための取り組みを長期的に行ってきたが、今年度は特に県内外市町村の地域運営組織形成支援の状況把握と、行政の支援体制整備として、担当課を超えた連携のための情報収集や地域へのアウトリーチ手法のノウハウ提供に注力した。

地域運営組織設置から10年以上経過している自治体や、地域運営組織制度を有していない自治体も含めて、より現状に即した地域支援の仕組み改善を検討してきた。その一貫で、真庭市「協働のまちづくり推進指針」の改訂にあたり原案の作成を行った。

[実施日時] 令和6年4月1日～令和7年3月31日

[実施場所] 岡山県・美作県民局管内および笠岡市（神島地区・新山地区等）新見市（布瀬地区）
自治体：鏡野町・美咲町・瀬戸内市・津山市・笠岡市・井原市・総社市・玉野市
新見市・真庭市

[従事者の人数] 10人 [支出額] 16,203(千円)

[受益対象者の範囲及び人数] 自治体担当者18人+地域住民(地域運営組織メンバー)200人

▶令和6年度小規模多機能自治推進ネットワーク会議 中国ブロック会議

主に中国地方の小規模多機能自治ネットワークメンバーを対象に、岡山県久米南町・美咲町からの話題提供をもとに、地域主体の空き家課題解決を進めるための自治体の支援や小規模多機能自治（地域運営組織）と連携した空き家課題解決の取り組みについて、参加市町村間の情報提供や意見交換を行った。

1月16日(木)、井原市での現地開催、47名の参加。 : 小規模多機能自治ネットワーク会

▶令和6年度 地域マネジメントコンサルティング業務

県内5つの市町を中心に、地域運営組織の設立・再構築や庁内連携による支援体制づくりの支援を行った。4年目となる今年度は、これまでの実績をもとに、新たな自治体支援の掘り起しも図り、玉野市における空き家課題解決に向けた庁内連携、総社市での職員研修を軸とした庁内連携等の支援につながった。また、今年度は県内市町村の地域運営組織推進に関する環境調査を図る取り組みを試行的に実施し、地域運営組織推進に必要な論点整理やモデル市町村の傾向分析を深めることができた。

① 笠岡市

地域が主体的に取り組む地域計画づくりの支援について、市職員が行う地域支援手法の構築と支援人材育成の観点からサポートを行った。モデル4地区ごとに異なる支援手法の提案や、市職員とのファシリテーションスキルの検討、地域計画づくりに向けた話し合いサポートの実践を通して、市職員がまちづくり協議会の支援手法や支援体制の在り方をイメージすることができた。特に今年度は過去3年間の積み上げによって、獣害課題や交通課題等について行政庁内での連携が生まれ、地域が主体的に課題解決に取り組むための支援体制の構築に寄与する場面が増えた。

② 井原市

一昨年度より設置された庁内連携会議のサポートを行い、市職員による自主的な会議運営につな

がる支援を意識して、会議前の情報提供やコーディネートに努めた。また、まちづくり協議会の計画策定等の支援を行うまちづくり支援員2名の支援設計、アドバイスも丁寧に行い、他市町村の事例等を踏まえて、支援員に求められるスキルや地域に出向くために必要な準備等についてノウハウ支援につながった。

③ 総社市

地域支援・協働のための支援体制構築に向けた庁内連携の機会を図り、全5回の職員研修の企画・運営サポート等を行った。市内の地域づくり協議会を中心とした地域への支援について、関連する担当課や関係支援団体（市社協等）に連携支援の重要性を共有するとともに、参加職員同士での地域や支援状況共有を行った。複数回の研修会（庁内連携会議）の成果として、「地域・市民を支援する総社市職員のための5つのクレド」を整理し、行動指針としてまとめた。今後の行動指針を活用した庁内連携の機会づくりにつなげることができた。

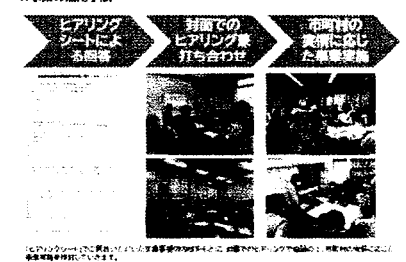
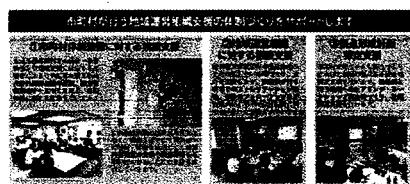
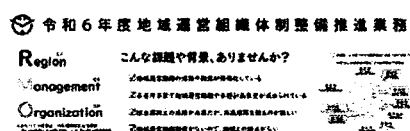
④ 玉野市

庁内連携と将来的な地域運営組織づくりに向けて、玉野市で活動している中間支援団体へのアドバイスや庁内全課に割り振られている協働推進員を対象に職員研修の企画・実施のサポートを行った。37名の職員を対象に、地域支援・庁内連携の重要性を共有したことで、参加職員から地域運営組織（地域主体の課題解決活動）とその支援（庁内連携支援）の必要性や連携可能性について前向きな意見があがった。研修とその企画会議をきっかけに、空き家課題について、まちづくり担当課・中間支援団体・空き家担当課・移住定住担当課・空き家や移住に関する支援団体による庁内連携円卓会議の実施につながった。また、この機会を活かして、県のまちづくり担当課と空き家担当課による両事業からの支援として県庁内の庁内連携にもつなげることができた。

⑤ 新見市

市内1地区に対して、新見市と協働で拠点形成計画策定支援を行い、施設改修に留まることなく、地域運営組織による課題解決のための拠点整備につなげるための話合いの場サポートや計画策定支援につなげることができた。

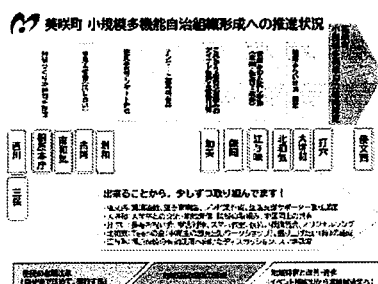
：岡山県中山間・地域振興課



▶美咲町まちづくり協議会の主体形成支援及びまちづくり会議等協働の仕組みづくり支援

『美咲町版小規模多機能自治』の制度化・実質化に向けての仕組みづくり支援と並行し、地域主体かつ課題解決型の地域運営組織の推進のためのサポートを平成30年度より継続的に行ってきた。小規模多機能自治の地域側の理解度も高まってきており、住民アンケート調査による課題を把握し、防災・鳥獣害・空き家・福祉・農地・情報発信等の具体的な課題の解決に至るケースも増えており、小規模多機能自治認定地域からの声をもとに認定地域同士での情報交換会の開催をサポートする動きもあった。平成30年度から継続している地域づくり担当課と社協の地区担当者や地域との事業実施担当者との地域課題共有会議を、地域へのアウトリーチの戦略検討の場としての意味合いを強め、事業の横連携を図りながら推進する体制の構築もできた。これは、小規模多機能認定地域だけでなく、その準備段階にある地域の主体形成と課題解決意識が強まり、地域の実践的な課題解決の取り組みが進むことで、具体的な共有事項・支援改善事項が生まれたことも大きな要因である。一方で、小規模多機能自治認定後の地域側への支援策として資金面での協議も各協議会リーダーの意見も聞きながら仕組み化に向けて動いたが、詳細部分は検討の余地があり、地域マネージャー制度や集落支援員制度などの人的支援も含めた検討が今後必要である。県内でも有数の地域運営組織全般的な先進の取組みが出来ている美咲町だからこそ、他自治体へのモデルケースとなるように引き続き支援を行う。

：美咲町



▶鏡野町地域づくり協議会運営支援及び庁内連携支援

鏡野町未来・希望基金事業を活用して地域課題解決に取り組む町内 12 地区の地域づくり協議会へのヒアリング、相談対応、打合せ、会議やワークショップ等のサポートを平成 30 年度より継続的に実施。令和 6 年度は個別地域支援の中で、町内の空き家対策に取り組む団体の「カガミノミライ」と連携した空き家管理サービスの実施に向けた動きや同じ町内の先進的な取り組みに刺激を受け、高校生と連携した課題解決に取り組む協議会も増えてきた。令和 7 年度は基金事業の 5 ヶ年計画策定の年であるため、好機として捉え、各地区の課題解決に向けた取り組みをより推進するためのサポート及び空き家対策における部局を超えた連携、福祉部局が推進するおたがいさま会議と地域づくり協議会の包括的な体制の整備に向けた庁内連携推進のサポートを行う。

：鏡野町



▶瀬戸内市地域自治組織制度づくり支援業務

地域へのヒアリング、話し合いの場サポート、行政庁内横断による情報交換の場の実施支援を通して、市内 2 地区の地域自治組織づくりに向けた支援とその制度づくりに関する制度設計支援を行った。

：瀬戸内市

▶美作県民局管内の地域運営組織等の相互交流・情報交換支援

美作県民局管内の地域運営組織のリーダーや事務局を主な対象とし、地域の課題解決に向けた取り組みの横展開を図ることを目的に、情報交換会を 11 月（37 名参加）に開催し運営サポートを行った。今年度は、令和 6 年 3 月に国土交通省より住民主体の無償運送における謝礼などの規制緩和があったことや特に中山間部では公共交通機関による移動サービスでは買い物や通院時のサポートには対応できないニーズも増えてきていることを受けて、「移動手段の確保」をテーマに、県内各地区で出前講座等を実施している移動ネット岡山の横山氏からの基調講演と真庭市美甘地区と二川地区より事例紹介を行い、地域主体での移動手段を確保するための取り組みのきっかけを考えるための場とした。

：岡山県美作県民局



▶真庭市協働のまちづくり推進指針改定支援業務

真庭市において平成 19 年度に策定された「協働のまちづくり推進指針」を約 16 年ぶりに改訂するにあたり、現在真庭市と協働で地域課題解決の取組みを実施している市民活動団体へのヒアリングや市民と行政職員を対象としたワークショップの運営とそれらの意見を基にした原案の作成を行った。ワークショップでは 16 年間の協働の取組みに対する評価と振り返りだけでなく 20 年先の真庭市の未来を想定した上で、そこで起こり得る地域課題を解決するために必要な協働の具体的な施策を検討し、地域自主組織や地域づくり委員会の範囲再検討や町内連携の実施、中高生の政治参画、中間支援の充実、電子地域通貨「まにコイン」の活動への活用等に関する声も上がった。交流会でのパブリックコメントも反映した上で、結果を改訂版の指針案としてまとめた。

：真庭市



真庭市 協働の まちづ くり推 進指針 改訂版

オール真庭で取り組む
人が輝くまちづくり

真庭市

第7章 協働を実践していくために

1. 協働のまちづくりを推進するための施策

これまでの評価や協働の現状を踏まえて検討した規定員会での意見により協働のまちづくり推進のための5本柱に沿った具体的な施策を再検討しました。

(1)市民活動団体の活性化

目標

市民活動団体が活動しやすい環境を整備し、地域全体の活性化を図ります。
また、地域活動を支えるリーダーや団体を育成し、持続可能な地域づくりを実現します。

施策

交流の場の提供	・市民が自由に集える場を確保し、交流の機会を創出します。 ・コミュニティマネージャーへの支援制度を創設するとともに、自由に使える集存施設を増やします。
情報発信の強化	・市民活動の好事例を Web や SNS で発信し、活動の認知度を向上します。 ・地域内外への情報発信を強化し、外部からの関係人口を増加させます。 ・SNS 強化とメディアリテラシー向上研修をセットで実施し、情報発信と録音中継リスクを軽減します。
リーダー育成支援	・地域リーダーを育成するための研修プログラムを実施します。特に若い世代や女性リーダーの育成を重点的に推進します。 ・リーダーの安定化を防ぐため、定年制やローテーション制の導入も推進し、世代交代や育成のサポート体制を整備。
団体の立ち上げ支援	・市民活動団体や NPO の設立を支援するための助成金制度を拡充します。 ・エリアを超えて、テーマ横断で活動する団体の活動を促進し、地域の課題解決に向けた協働を推進します。 ・団体の活動内容と収支をオンライン公開し、透明性を確保します。
人材バンクの設置	・地域の人材を登録する「人材バンク」を設置し、地域の課題に応じた人材活用を促進します。 ・市民一人ひとりが役割を担える仕組みを構築し、見守り活動、整備作業、寺門的などします。

[事業内容]地域組織による個別課題支援

さらなる人口構成変化が進む今後、集落のあり方に関するいくつかの選択肢やビジョンを提案していける組織となるため、2024年度より地域が主体的に話し合い、解決すべきと考えるテーマ「地域の農地管理」「農業の継続」「空き家」「防災」等、より具体・実践的な解決策を提供できる事業を行った。

地域の「今」的課題をキャッチし、地域とともに解決の方法を探る姿勢を保つことができるのは、岡山において当団体とともにチャレンジをすすめようとする主体的な地域の形成が進んできた結果に他ならない。

[実施日時] 令和6年4月1日～令和7年3月31日

[実施場所] 岡山県内津山市加茂地区および上加茂地区・田辺地区・美咲町打穴地区
自治体：津山市・美咲町・久米南町・笠岡市・新見市・京都府
美作県民局管内

[従事者の人数] 11人

[支出額] 10,000(千円)

[受益対象者の範囲及び人数] 自治体担当者30人+地域住民(地域運営組織メンバー)200人

【地域の農地管理・農業の継続・農村振興・草刈り等地域環境の維持】

地域資源の適切な保全管理を維持するために、非農家も含めた地域全体で地域の5年後10年後の姿を話し合い、計画できるような人材育成と伴走支援を行った。農林水産省でも農村RM0として推進している中、地域がこうした事業をどう活かすか、所轄の農業系行政担当者やRM0担当者・地域福祉担当の社会福祉協議会等とも情報共有や検討を進めた。

▶農村型地域運営組織(農村RM0)形成推進

〔加茂の今後を考える会—津山市支援者円卓会議〕

令和3年度の岡山県人材育成講座 地域戦略の立て方編 - 津山会場 - に「加茂の今後を考える会」発起人メンバーが参加したことをきっかけに、加茂地域4支部でそれぞれ実状や課題は異なる中でも、それらを共有しながら、地域全体で地図作業や話し合いの場を設け考えていくことができないかと、加茂地域全4支部に声を掛け、「加茂の今後を考える会」をスタートした。

約3年間の話し合いが実を結び、具体的な実践につなげていく動きが生まれている。その一つに農村RM0事業の「加茂の今後を考える会」事前の戦略会議を通じて上加茂地区住民自治協議会が農村RM0のモデル事業を申請、採択された。

令和5年度から進めた津山市支援者円卓会議（＝津山市加茂支所・農村振興課・地域づくり推進室・社会福祉協議会サブセンター・岡山県農村振興課・美作県民局農業振興課・地域づくり推進班・美作広域農業普及指導センターが参加する地域支援会議）において、農村RM0事業のより効率的・効果的で持続可能で地域住民が主体的に取り組める体制やそのための課題や注視すべきことについて情報交換できた。会議数のべ37回。

〔津山市田辺地区—津山市支援者円卓会議〕

津山市円卓会議の過程で田辺地区からの要望を受けて、当該地域のアプローチの方法についても協議した。会議数のべ12回。

美咲町小規模多機能自治認定地域である打穴地区(打穴上・打穴里・打穴北・打穴西)の月に1回実施する「やってみん会打穴」の「草刈り・鳥獣害・農業部会」の伴走支援を行い、草刈り王選手権や、今後の農地や農業についての協議のファシリテートを行った(会議数のべ20回)。

その他、農村 RMO 協議会を形成した地域の活動支援(真庭市吉縁起村・美作市)や、岡山県が作成する農村 RMO の PR チラシに対するアドバイス、総社市や吉備中央町への農村 RMO の周知を行った。

維持管理方法の見直しや次世代への継承等による継続的な農地の保全に向けて、課題を洗い出し、参加者が主体的に解決策を考えるための講座を開催。農村地域の振興に向けては、シェアハウス及び農家民宿を経営する講師を招き、民泊経営者が学び合い交流する機会を設けた。

令和7年2月14日 講師：阿部典子

8

【空き家】

平成 28 年度より岡山県の事業としてすすめてきた空き家利活用の支援に関する事業は、主体を確立した地域を行政担当者と協働で支援することによって、地域の持続と発展につながる成果が上がってきた。今年度も引き続き、行政担当者に対する支援に重点を置き、自治体間の学び合いや関連所轄課（地域づくり・除却・税務等）との連携をすすめ、地域が主体となって取組む空き家対策（体制構築・把握・所有者とのコンタクト・意向確認・利活用・管理）の具体的な活動のサポートも行った。地域課題が深刻化する今、中山間地域に暮らす人が人生の最期まで安心して自分らしく暮らし、所有される家や田畑等をそれまで支え合いながら暮らした地域の資源として活かされる仕組み構築の検討も昨年度に引き続き行った。

▶村の機能再構築

中期ビジョンの柱の一つである「少ない人口でも暮らし続けられるようにするための土地計画（地域計画）のあり方検討」に繋がるものとして、土地・建物・山林等を地域で計画的に考える共有財産化（コモン化）の可能性を自主事業及び岡山 NP0 センターからの委託事業として調査した。個別地域や空家委託事業等から情報収集、小規模多機能自治の先進地域・雲南市で支援に取り組む組織や先進地域での取り組みに関する情報収集・意見交換、ウェブアンケート等を行った。

：岡山 NP0 センター

▶令和 6 年度地域の空き家利活用支援

過去 6 年間のモデル事業から蓄積してきた地域の空き家活動を横展開させる形で、地域運営組織による空き家マッピングをきっかけとした話し合いの場やそこから派生した主体的な取り組みが広がりつつある。特に令和 6 年度は市町村担当者キックオフ説明会が功を奏し、市町村との連携深化として美咲町久米南町において担当課が抱える空き家流動化を進めるための行政内外の機関との連携についての情報交換ができた。また離島地域として笠岡市白石島の支援、団地地域として赤磐市山陽団地での勉強会開催など、多様な住環境における空き家課題へのアプローチも進んだ。また、

「地域と空き家のこれからを考えるフォーラム」においては、多様な参加者と経験豊富な実践発表者により、民間事業者を含めて取り組みの周知や理解促進を行うことができ、登壇組織の一つである「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」とは、地域での空き家活用の取り組みの先進ケースとして、岡山県の地域での取り組みを進化させる際のノウハウ協力等連携を図ることができた。

ただ、一口に岡山県内地域の空き家利活用支援と言っても、市街地の資産価値も高く流通可能性の高い地域と、過疎地域で小中学校もない地域では活用レベルは異なる。それらを前提としてこれまでの事業を発展させる形で、不動産業者などの民間事業者と地域組織や行政庁内での連携支援、地域組織への空き家把握と管理に関するノウハウ支援、空き家改修や管理を各地で活躍できる人材の育成と地域への受入のマッチングの機会も含めてのサポーターの育成・登録等を行い、コモン化の可能性とも連動させていきながら、今後の展開に繋げていきたい。

：岡山県住宅課



【防災】

平成30年西日本豪雨以降、地域での課題掘り起こしワークショップや住民アンケート調査等において災害時の要支援者への対応や連絡体制の構築、日頃からの災害対策など、「防災」に関するニーズが高まっており、地域運営組織や自主防災組織、防災士、防災への関心がある県民を主な対象者としての防災への意識や知識を高める機会の運営サポートを引き続き行った。

▶防災講演会開催支援

美作県民局管内の自主防災組織や地域運営組織メンバー、防災士や防災に関心がある住民を対象とした防災講演会ならびに情報交換会の開催サポートを行った。防災講演会は過去、地域防災力強化推進事業として市町村の要望に応じて実施してきたが、参加者は地域のリーダー層が多く、今回は親子連れも参加でき、防災への関心が高められる機会とするための内容とした。実施後は、事例紹介者と参加があった個別地域との調整もあるなど、横展開に繋がる動きも見受けられた。

：美作県民局

▶岡山県防災士スキルアップセミナー

県内在住の防災と防災士資格の取得を検討されている方を対象としたセミナーのパネルディスカッションにおけるファシリテーターを行い、「地域の防災を考える～防災士に求められること～」をテーマに講師や防災士会、地域運営組織メンバー等のパネリストと議論を深め、参加者と共有するサポートを行った。

：岡山県

令和6年度 地域防災力強化推進事業

防災講演会

令和7年 1月26日(日)
10:00～12:00 (受付9:30～)

美作学園創立100周年記念館
100周年ホール (津山市北通町50)

第1部 地震の今
地震と水害から学ぶ

第2部 楽しく学ぶ
防災セミナー

参加申込方法は裏面をご覧ください

令和6年度 地域防災力強化推進事業

情報交換会

令和7年 1月19日(日) 10:00～12:00 (受付9:30～)

津山市総合福祉会館 4階 大会議室 (津山市山北520)

報告・パネルディスカッション
登壇地域：真備町岡田地区まちづくり推進協議会

副会長 岡野 照美 氏

アドバイザー：災害支援ネットワークおかやま 林叶 純子氏

平成30年の西日本豪雨以降の状況を振り返り、防災からの地域（協議会）としての動きや災害時の岡田地区の様子、避難所運営や避難所生活への関わり方を紹介いただきます。また、テーマごとに参加者同士で意思を共有する時間もあり、情報交換を行います。

● 申込・参加申込については裏面をご覧ください ●



[事業内容]地域運営組織等の推進支援

まちづくり協議会・住民自治協議会等、相談のある地域を中心に計画づくりや設立支援などを実施し、地域の主体づくり・組織体制づくり・計画づくりに寄与した。役員会議への運営助言、会議の事前打合せへの助言、住民アンケート実施分析に基づく事業計画への助言など運営サポートを行った。

[実施日時] 令和6年4月1日～令和7年3月31日

[実施場所] 津山市(新加茂・院庄地区)・美作市豊田地区・井原市(野上)

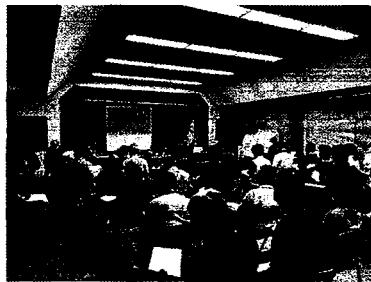
[従事者の人数] 3人 [支出額] 7,500(千円) [受益対象者の範囲及び人数] 50人

▶個別地域支援

- ・津山市新加茂地区：役員会議への運営助言ならびに今後の運営体制への助言
：新加茂地区住民自治協議会
- ・津山市院庄地区：役員会議への運営助言ならびに会議事前打合せへの助言
：院庄まちづくり協議会
- ・井原市野上地区：野上まちづくり協議会への運営サポート(会議出席・助言・情報提供等)
：野上まちづくり協議会



新加茂地区ワークショップ



院庄地区会議運営サポート



野上地区会議サポートと学生参画支援

▶津山市中心市街地活性化に係る支援(エリアプラットフォーム)

令和4年度より津山市の中心市街地における自治的なまちづくりの在り方支援を目指して取り組んでおり、当年度は国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の制度を活用し、住民主体によるまちづくりの枠組みとしてエリアプラットフォーム(まち仲つやま)の設立とビジョンづくりをサポートした。設立後は「まち仲つやま」として、未来ビジョン策定に向けたワークショップやまち歩きを開催し、未来の商店街をテーマにエリアコンセプト案の策定支援を行った。今後は将来的な都市再生推進法人の設立も視野に入れながら、中心市街地の魅力を活かし暮らしたいエリアを実現し、街を維持するための具体的な方向性を確立していくための支援を引き続き行う。

：津山市

▶津山市中心市街地活性化に係る支援(社会実験)

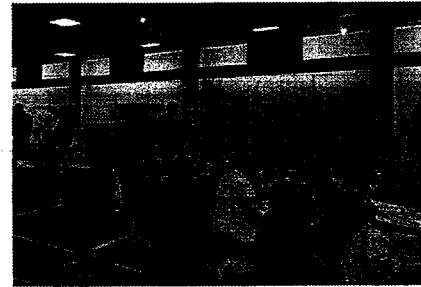
エリアプラットフォーム(まち仲つやま)で検討した5つのエリアコンセプトが、未来ビジョンを詰める上で妥当かを検証するための実証実験のサポートを行った。主にはユーザーのニーズ把握を核

として、商店街からの要望も踏まえ難めぐりイベントの開催と連携する形で、「津山中心市街地の知られざる歴史名所スタンプラリー」「子育て世代買い物応援キャンペーン」「憩いのスペース」「キッチンカマルシェ」を実施し、子育て世代の商店街へのニーズや中心市街地への居住ニーズ、歴史を核とした観光へのニーズの検証を行った。検証目標はいずれも到達し、一定のニーズがあることが確認できたため、未来ビジョン策定に活かしていく。

：津山中心市街地活性化協議会



エリアプラットフォームの未来ビジョン検討会



社会実験当日の様子

▶集落大図鑑

美咲町打穴地区の「やってみん会“打穴”」の取組みを第13号では特集し、美咲町版小規模多機能自治として多くの人が地域の課題解決の取組みに楽しく参加できる工夫や住民自治を進めるプロセスについて取材し冊子を作成した。



▶鹿児島県の地域運営組織支援に関するアドバイザー

鹿児島県が長年進めてきた「コミュニティ・プラットフォーム」の整備・検討に取り組む市町村を支援するため、講師やアドバイスやそのための打合せを以下の日程で行った。講師：阿部典子

- ・令和6年10月17日 場所：県庁会議室（オンライン）

伊佐市と出水市へのヒアリング及びアドバイス

- ・令和6年10月29日 場所：出水市役所

出水市と地区コミュニティ協議会への課題解決に係る助言

- ・令和6年10月30日 場所：県青少年会館「自治体ネットワーク会議」

鹿児島県内市町村や県に対し、コミュニティ・プラットフォーム（地域運営組織）形成における行政の役割に関して、庁内でのビジョンの共有等に関する助言を実施した。

- ・令和6年10月31日 場所：県庁会議室（オンライン）

奄美市に対するヒアリング及び助言を行い、今後の進め方について提案した。

- ・令和6年10月31日 場所：重富駅前コミュニティ

伊佐市へのヒアリング及びアドバイス

- ・令和7年1月29日 場所：県庁会議室（オンライン）

曽於市へのヒアリング及びアドバイス

- ・令和7年1月30日 場所：カクイックス交流センター「自治体ネットワーク会議」

鹿児島県内市町村や県に対し、行政職員等の地域との関わり方に関して、地域に出向くところから初期のアプローチ、話し合いの場を形成するための対話、地域主体形成と地域支援を目的とした支援者間連携に関する助言を実施した。

- ・令和7年1月31日 場所：奄美市役所 「奄美市まちづくり講話」

奄美市や住民などに対してヒアリング及びアドバイスとしてコミュニティ・プラットフォーム（地域運営組織）の必要性や地域主体の課題解決の可能性に関する助言を実施した。

- ・令和7年2月1日 場所：奄美市役所 「奄美地区まちづくり座談会」

奄美市と奄美地区の地域福祉を核としたコミュニティづくり実践者等へコミュニティ・プラットフォーム（地域運営組織）の形成に関する助言を実施した。

▶「小さな拠点」づくり全国フォーラム～中間支援組織を考える～・「小さな拠点」づくり HUB

地方創生の一環として取り組み始めてまもなく10年が経つ「小さな拠点」の形成・運営の推進において、中間支援組織の支援策を学び合い、実践につなげるための実践・取組の現場での研修会（＝「小さな拠点」づくり HUB）と、その対象となった一関市：いちのせき市民活動センターと、那覇市：NPO 法人まちなか研究所わくわくと合同のフォーラムを開催した。

「小さな拠点」づくり HUB については、美咲町及び打穴地区まちづくり協議会に協力いただき、美咲町の地域運営組織形成に向けた行政運営支援や庁内連携について、地域の様々な取り組みやそこに向かうまでの苦労や工夫、そのための地域主体形成支援の実践について、体感できる機会とした。

【事業内容】集落に暮らす次世代の参画・チャレンジを支える事業

地域が主体的に取り組みたい課題やテーマに対し、地域に暮らす高校生・大学生が課題解決に取り組む仲間として参画することで、取り組みがより一層発展し、学生も地域に役立つことで自身の成長の糧にできる機会づくりと将来的な地域の担い手育成を主な目的に、学生と地域のマッチングを図り、地域資源を生かした地域課題解決のための企画運営チャレンジをサポートした。また、みんなの集落研究所が地域を主体とした課題解決のエンパワメントに共感し、支援者となり得る人材「みんな研ユース」を視野に入れたチャレンジや高校生大学生だけでなく、小中学生世代から地域づくりに関わる機会創出の重要性の議論も行った。

【実施日時】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

【実施場所】 美作県民局管内 ソシオ一番街・銀天街・元魚町・津山東高校・津山中学校・林野高校
備中県民局管内 井原市野上地区・新見市千屋地区

【従事者の人数】 11人 【支出額】 3,200(千円) 【受益対象者の範囲及び人数】 600人

▶津山圏域高校生等との協働による地域課題解決支援

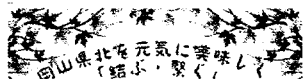
令和元年度より、高校生の地域愛醸成と県北地域が誇る特産品や地域オリジナル商品の周知を主な目的として、「県北のうまいもん大集合！うまいもん商店街！」を年1回津山市内の商店街で開催し、令和6年度までに6回を連ねる。本イベントは高校生実行委員会が企画運営を行うもので、美作県民局管内の4校から有志18名が参加した。また、地域への関心をもつ高校生と高校生の力を借りたい地域運営組織とのマッチング支援も行い、地域側としても高校生の参画を関係人口に通じる地域の課題と一緒に取組む仲間としてまた捉え、高校生自身も地域との協働の中で、県北地域への愛着心ならびに地域づくりの将来の担い手育成の醸成や機会にもつながっている。

美作県民局及び管内の地域：美作市梶並地区・鏡野町上齋原地区・鏡野町中谷地区他

参加校：津山東高校・津山工業高校・美作高校・林野高校

▶学校における地域コーディネート活動（県立津山東高・津山中学）

令和元年度より、岡山県立津山東高等学校の地域協働活動コーディネーターとして、同高2年生の課題探究学習に年間通じて関わり、主に津山市の地域の現状と課題、資源をもとに、高校生目線での課題解決提案の企画策定と地域運営組織との実践のサポートを行った。また、津山中学校（1年生）においては外部講師として総合的な探究の時間に携わり、県北部における現状や地域が抱える課題、その課題解決に向けた取組みの実例を紹介し、フィールドワークにおける心構え、成果報告会での指導講評も行った。



：津山東高校・津山中学校・上加茂地区・佐良山地区



▶大学生と実施する地域の課題解決支援事業

地域が自主的に若い世代を迎え入れ、課題解決のための取組へつなげるためには、地域の主体形成と外部人材との効果的な接続が重要となることから、備中県民局が実施する地域の課題解決を目的とした大学生との連携事業を支援した。地域側で地域全体の合意形成をもって検討した具体的なテーマ（解決したい地域課題）が設定されていたことから調整段階で、課題に対する認識を事前に共有することに主眼を置いて大学生人材のコーディネートを行い、対象2地区にとって効果的な課題解決活動に繋げることができた。

3年目となる今年度は、両地区ともに「次年度も継続して(大学生人材と協働で行う事業ないしは大学生と試験的に行った事業を自主的に)活動したい」という意向を踏まえて、次年度も継続的に活動するためのアドバイスやサポートを図った。結果として、次年度は同様の活動で他の支援団体に引き継ぐことができ、大学生人材との事業に起こりがちな単発的・非継続的なものではなく、継続的かつ地域課題に直結した事業として地域に残すことができた。

：備中県民局



▶成果報告会「地域リーダー100人会議」

事業の柱の1つである「地域を支える人材の支援・育成」の中期ビジョンに繋げることを狙って、「地域で子どもを育てる。そのための学校という機能をどう考えるか。」をテーマに、地域リーダー100人会議として「地域組織主体で学校をひらくという選択肢を考えるフォーラム」を開催し、小規模特認校やフリースクールなど、実践的に活動されている地域の事例をもとにこれからの地域・集落・子どもたちの未来について参加者全員で議論を行った。

中山間地域や離島地域など、地域の生活環境にかかわらず、望む教育や子育てが実現できることにより、「住み続けられる地域」「移住したい地域」としての力を高め、地域自治の維持につながることは非常に重要であるため、県内の地域リーダーを中心に、地域組織主体で学びや体験の機会を創り出していくことの重要性と期待感を共有し、その選択肢や可能性について議論することができた。



[事業内容]講師派遣・委員

[実施日時] 令和6年4月1日～令和7年3月31日

[実施場所] 岡山県全域・全国

[従事者の人数] 8人 [支出額] 1,008(千円) [受益対象者の範囲及び人数] 500人

▶各種講座

- ・令和6年7月8日 広島大学「平和共生リーダー概論」授業(広島県広島市) : 小野賢也
- ・令和6年7月22日 高梁川流域協働推進会議 : 小野賢也
- ・令和6年7月25日 備前市生活支援ボランティア養成講座 : 阿部典子
- ・令和6年9月1日 新・ももたろう未来塾 : 阿部典子
- ・令和6年9月3日 宇治市地域の仕組みづくり会議(京都府宇治市) : 小野賢也
- ・令和6年9月23日 山陽新聞シンポジウム : 石原達也
- ・令和6年9月27日 兵庫県行政職員向け地域づくり研修(兵庫県姫路市) : 阿部典子
- ・令和6年11月17日 小野コミュニティ地域づくりセミナー(兵庫県豊岡市) : 阿部典子
- ・令和6年12月1日 岡山例会『第8回中国本部技術士研究・業績発表会』 : 阿部典子
「美作市上山地区の12年ー地域貢献による継続研鑽」
- ・令和6年12月16日 鳥取県東部地区地域づくり研修会(鳥取県鳥取市) : 阿部典子
- ・令和7年1月29日 新見市地域運営組織ネットワーク会議 : 小野賢也
- ・令和7年2月2日 美星町自治公民館連合会研修会 : 三村雅彦
- ・令和7年2月2日 玉野市コミュニティの集い地域づくり講演会 : 小野賢也
- ・令和7年2月9日 岡山県防災士スキルアップセミナー : 小野賢也
- ・令和7年2月18日 いわせん20周年記念シンポジウム(岩手県紫波町) : 阿部典子
- ・令和7年3月15日 浅口市コミュニティ推進協議会全体研修会 : 小野賢也

▶寄稿

- ・『西日本社会学会年報第22号 2024年 55頁-62頁』
「地域支援の現場からー特定非営利活動法人みんなの集落研究所の組織と活動ー」
首席研究員 阿部典子

▶各種委員会の派遣

代表執行役 石原達也

- ・岡山県生涯学習審議会・岡山県社会教育委員
- ・瀬戸内市図書館運営委員
- ・勝間田高校学校運営委員
- ・福武財団・地域振興助成選考委員

首席研究員 阿部典子

- ・岡山県備前県民局地域づくり推進アドバイザー会議委員
- ・美作国創生公募提案事業審査委員会委員
- ・倉敷市民企画提案事業審議会委員

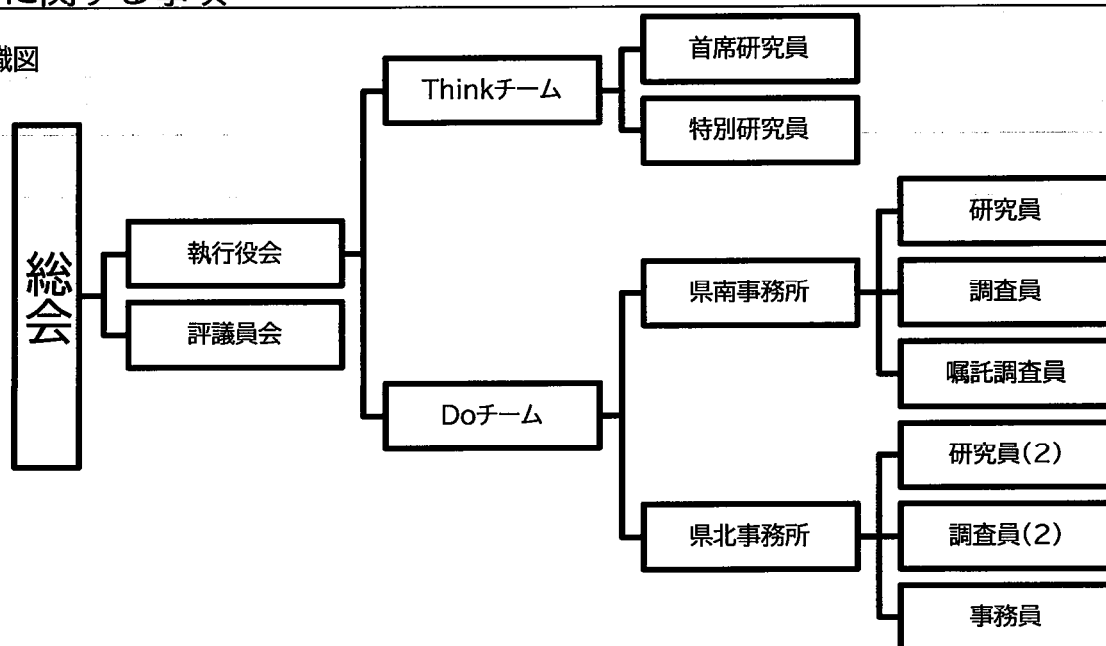
- ・倉敷市都市景観審議会委員
- ・新見市建築審査会委員
- ・新見市都市計画審議会委員
- ・美咲町行財政改革審議会委員
- ・旭みらいデザイン検討委員会委員
- ・井原市空家等対策推進協議会委員
- ・元気いばら創生戦略会議委員
- ・指定管理者岡山県青少年教育センター閑谷学校運営委員会委員
- ・島根県中山間地域研究センター運営協議会研究課題評価専門委員会委員

研究員 三村雅彦

- ・岡山県立津山東高等学校学校運営協議会委員

運営に関する事項

組織図



(1) 総会／通常総会（全1回）※正会員総数 23 名(令和 6 年 6 月 13 日)

場所：当法人会議室（岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 3 階）他オンライン開催

開催日	出席	決議事項
2024(令和 6)年 6 月 13 日 (木)	出席 19 名 ・ 本人出席 11 名 ・ 委任状 6 名 ・ 書面評決 2 名 欠席 4 名	・ 2023(令和 5)年度(第 11 期)事業報告および活動決算について ・ 2024(令和 6)年度(第 12 期)事業計画および活動予算について ・ 2024(令和 6)年度(第 12 期)事業実施体制について

(2) 執行役会（全4回） ※執行役総数8名

場所：当法人事務所（岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階） オンライン

回	開催日・出席数	決議事項
1	2024(令和6)年 5月7日(火) ・出席8名	① 第11期事業の決算進捗 ② 第12期の事業計画及び職員体制について
2	2024(令和6)年 6月1日(土) ・出席8名	① 第11期事業の決算 ② 出退勤等の労務管理方法について [確認事項] 総会の進め方
3	2024(令和6)年 7月1日(月) ・出席8名	① 出勤管理・情報共有手法について ② SNSを活用した情報発信について [協議事項] 地域リーダー100人会議の進め方
4	2025(令和7)年 2月3日(月) ・出席8名	① 第13期の事業実施体制について ② 中長期戦略の検討及び進め方について

(3) 評議員会

地域リーダー100人会議「地域組織主体で学校をひらくという選択肢を考えるフォーラム」に現在の評議員への参加も呼び掛け、中期的な戦略の議論を深める機会とした。

(4) 全国・他地域での研修や行事への参加など

行事名	開催日	場所	出席者
■会計及び事務手続き勉強会 NPO会計についての講義や決算書類作成、相談対応のケースワーク、法令遵守(所轄庁手続き・法務局手続き・労務関係)。	令和6年 6月11日(火) ～13日(木)	表町事務所	小野・三村 矢萩・原
■事務局基礎講座 NPO法人の所轄庁へ提出する各種届出や役員変更などに必要な手続き、実務に活かせるケースワーク	令和6年 7月9日(火)	きらめき プラザ	原
■農村RMO推進フォーラム 鍋山地区や佐田地区等の農村RMOの取組み紹介やディスカッション、津山市上加茂地区の農村RMO設立・事業活用に向けた公開相談会	令和6年 10月25日 (金)	雲南市木次 経済文化 会館	阿部・梅谷 矢萩

■福祉対応力向上基礎研修（防災関係者向け） 個別避難計画作成の流れや要支援者への対応、 個別避難計画策定のための地域調整会議について の研修会	令和6年 11月2日 (土)	きらめき プラザ	小野
■福祉対応力向上基礎研修（福祉関係者向け） 個別避難計画作成の流れやマイタイムライン作 成の実施方法などについての研修会	令和6年 11月11日 (月)	きらめき プラザ	小野
■雲南ゼミ 雲南市で進めてきた小規模多機能自治の取組み ならびに個別地域（鍋山地区・飯石地区・新市 地区・中野地区・波多地区）の取組みを学ぶ。	令和6年 11月13（水） ～14日（木）	島根県 雲南市	小野・黒瀬
■地域支援者合同研修 地域づくり支援者として大切にしているマイン ドや地域支援の際に気を付けているポイントを 学び、参加者同士での情報交換を行った	令和6年 11月26日 (火)	オンライン	小野・黒瀬
■令和6年度第3回「小さな拠点」づくり HUB 美咲町及び美咲町社会福祉協議会の小規模多機 能自治における取組発表、打穴まちづくり協議 会の取組み紹介	令和7年 2月6日（木）	美咲町生涯 学習 センター	黒瀬

(5) 管理するウェブサイトなど

下記のウェブサイトを経営し情報発信を行った。

ウェブサイト名	URL
NPO 法人みんなの集落研究所	http://www.npominken.jp/
Canpan ブログ みんなの集落研究所 ※平成30年10月より新規HPへブログ 機能を統合	http://blog.canpan.info/minken/
Facebook	https://www.facebook.com/npominken
Instagram	https://www.instagram.com/minken_okayama

法人名： 特定非営利活動法人みんなの集落研究所

2024年度 第12期活動計算書

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	100,000		
一般会員受取会費	18,000		
賛助会員受取会費	0		
移動販売会員受取会費	0	118,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	30	30	
3. 受取助成金等			
受取協賛金	65,000	65,000	
4. 事業収益			
事業 収益	3,595,080		
受託事業収益	54,115,387	57,710,467	
5. その他収益			
受取 利息	10,153		
雑 収 益	8,266	18,419	
経常収益計			57,911,916
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	19,437,790		
役員報酬	3,100,000		
賞与手当	9,386,199		
臨時雇賃金	26,000		
法定福利費	3,916,493		
人件費計	35,866,482		
(2) その他経費			
業務委託費	1,385,000		
諸 謝 金	832,499		
印刷製本費	85,434		
会 議 費	200,760		
旅費交通費	2,514,375		
車 両 費	883		
通 信 費	55,521		
消耗 品費	468,637		
新聞図書費	8,800		
水道光熱費	48,585		
賃 借 料	1,071,845		
保 険 料	37,780		
減価償却費	0		
租税 公課	54,400		
研 修 費	35,700		
支払手数料	52,578		
支払協賛金	10,000		
雑 費	26,080		
その他経費計	6,888,877		
事業費計		42,755,359	

2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	100,000		
給料手当	2,849,685		
通勤手当	541,610		
法定福利費	578,747		
福利厚生費	107,060		
人件費計	4,177,102		
(2) その他経費			
印刷製本費	0		
諸謝金	0		
業務委託費	950,840		
会議費	4,400		
旅費交通費	179,278		
通信費	430,228		
消耗品費	302,767		
水道光熱費	117,512		
地代家賃	2,092,980		
賃借料	19,400		
研修費	0		
新聞図書費	0		
諸会費	18,000		
慶弔費	3,025		
減価償却費	148,259		
リース料	212,173		
租税公課	1,800		
消費税	2,623,400		
支払手数料	132,470		
雑費	4,400		
雑損失	23,210		
その他経費計	7,264,142		
管理費計		11,441,244	
経常費用計			54,196,603
当期経常増減額			3,715,313
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		
2. 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
1. 固定資産除却損	0		
2. 過年度損益修正損	87,339		
経常外費用計		87,339	
税引前当期正味財産増減額			3,627,974
法人税、住民税及び事業税			909,500
当期正味財産増減額			2,718,474
前期繰越正味財産額			17,272,114
次期繰越正味財産額			19,990,588

法人名： 特定非営利活動法人 みんなの集落研究所

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	598,014		
普通預金	21,976,581		
未収金	15,318,823		
前払費用	83,800		
流動資産合計		37,977,218	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	148,260		
有形固定資産計	148,260		
(1)投資その他の資産			
敷金	140,000		
投資その他の資産計	140,000		
固定資産合計		288,260	
資産合計			38,265,478
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,566,376		
預り金	431,814		
未払法人税等	909,500		
未払消費税	1,367,200		
流動負債合計		18,274,890	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			18,274,890
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,272,114	
当期正味財産増減額		2,718,474	
正味財産合計			19,990,588
負債及び正味財産合計			38,265,478

2024年度・第12期 財産目録
2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 みんなの集落研究所

科目	金額(単位:円)		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(現金及び預金)			
現金	598,014		
普通預金			
中国銀行	21,976,581		
(その他流動資産)			
未収金			
事業収益	462,868		
受託事業収益	14,855,955		
前払費用			
家賃、駐車場代	83,800		
流動資産 合計		37,977,218	
2. 固定資産			
(有形固定資産)			
什器備品	148,260		
(投資その他の資産)			
敷金	140,000		
固定資産 合計		288,260	
資産の部 合計			38,265,478
II. 負債の部			
1. 流動負債	15,566,376		
未払金			
職員の3月分給与手当 等	1,937,295		
上記の社会保険、厚生年金、等	523,927		
職員の賞与手当 等	7,127,570		
上記の社会保険、厚生年金、等	2,052,634		
臨時雇賃金	26,000		
消耗品費	162,026		
旅費交通費	50,990		
業務委託費	1,792,340		
諸謝金	110,000		
通信費	8,075		
賃借料	114,930		
地代家賃	1,207,380		
複合機リース料 他	453,209		
預り金			
所得税	146,875		
住民税	140,800		
雇用保険	120,331		
源泉税	23,808		
未払法人税等	909,500		
未払消費税	1,367,200		
流動負債 合計		18,274,890	
2. 固定負債			
固定負債 計		0	
負債の部 合計			18,274,890
III. 正味財産の部			
1. 正味財産			
正味財産	19,990,588		
(うち当期正味財産増減額)	2,718,474		
正味財産の部 合計			19,990,588

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額表で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	個人・家族の課題解決	集落・組織の課題解決	地域を支える人材	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	118,000	118,000
2. 受取寄付金	0	0	0	0	30	30
3. 受取助成金等	0	0	65,000	65,000	0	65,000
4. 事業収益	0	44,956,167	12,754,300	57,710,467	0	57,710,467
5. その他収益	0	0	8,266	8,266	10,153	18,419
経常収益計	0	44,956,167	12,827,566	57,783,733	128,183	57,911,916
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	81,006	14,246,446	5,110,338	19,437,790	2,849,685	22,287,475
役員報酬	0	2,900,000	200,000	3,100,000	100,000	3,200,000
賞与手当	0	7,850,449	1,535,750	9,386,199	0	9,386,199
臨時雇賃金	0	26,000	0	26,000	0	26,000
法定福利費	4,647	3,284,890	626,956	3,916,493	578,747	4,495,240
福利厚生費	0	0	0	0	107,060	107,060
通勤手当	0	0	0	0	541,610	541,610
人件費計	85,653	28,307,785	7,473,044	35,866,482	4,177,102	40,043,584
(2) その他経費						
業務委託費	0	1,385,000	0	1,385,000	950,840	2,335,840
諸 謝 金	0	700,999	131,500	832,499	0	832,499
印刷製本費	0	54,714	30,720	85,434	0	85,434
会 議 費	0	195,360	5,400	200,760	4,400	205,160
消耗 品費	0	371,538	97,099	468,637	302,767	771,404
新聞図書費	0	8,800	0	8,800	0	8,800
通 信 費	0	47,054	8,467	55,521	430,228	485,749
旅費交通費	57,521	1,646,646	810,208	2,514,375	179,278	2,693,653
車両 経費	0	0	883	883	0	883
賃 借 料	0	837,580	234,265	1,071,845	19,400	1,091,245
リース 料	0	0	0	0	212,173	212,173
水道光熱費	0	41,350	7,235	48,585	117,512	166,097
地代 家賃	0	0	0	0	2,092,980	2,092,980
保 険 料	0	7,240	30,540	37,780	0	37,780
諸 会 費	0	0	0	0	18,000	18,000
研 修 費	0	0	35,700	35,700	0	35,700
慶 弔 費	0	0	0	0	3,025	3,025
減価償却費	0	0	0	0	148,259	148,259
租税 公課	0	42,800	11,600	54,400	1,800	56,200
消 費 税	0	0	0	0	2,623,400	2,623,400
支払手数料	0	46,843	5,735	52,578	132,470	185,048
支払協賛金	0	10,000	0	10,000	0	10,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	26,080	26,080	4,400	30,480
雑 損 失	0	0	0	0	23,210	23,210
その他経費計	57,521	5,395,924	1,435,432	6,888,877	7,264,142	14,153,019
事業費計	143,174	33,703,709	8,908,476	42,755,359	11,441,244	54,196,603
当期経常増減額	△ 143,174	11,252,458	3,919,090	15,028,374	△ 11,313,061	3,715,313

3. 使途が制約された寄附金等の内訳

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首取引価格額	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	296,519	0	0	296,519	148,259	148,260
合計	296,519	0	0	296,519	148,259	148,260

前事業年度の年間役員名簿

(令和6年4月1日 から 令和7年3月31日)

特定非営利活動法人みんなの集落研究所

No.	役職名	氏 ^リ 名 ^ガ	住所又は居所	就任期間	報酬を 受けた期間
1	理事	イシハラタツヤ 石原達也		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	令和 6 年 4 月 1 日 令和 7 年 3 月 31 日
2	同	アベノリコ 阿部典子		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
3	同	ウメタニマサシ 梅谷真慈		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
4	同	ヒオキミユキ 日置 幸		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
5	同	オキムラマイコ 沖村舞子		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
6	同	タカヤマカズナリ 高山和成		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
7	同	フジイヒロヤ 藤井裕也		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
8	同	ミズカキダイチ 水柿大地		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
9	同	ミムラマサヒコ 三村雅彦		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
10	同	オノケンヤ 小野賢也		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し

11	監事	岡井潤子 オカイジュンコ		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し
12	同	小橋仙敬 コバシヒサユキ		自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	報酬無し